



CDR フィールドの説明

この章では、CDR ファイルに表示される順序で、コール詳細レコード (CDR) のフィールドの説明を示します。

- [CDR フィールドの説明 \(1 ページ\)](#)
- [外部コール制御のルーティング原因値 \(31 ページ\)](#)
- [シスコのコール詳細レコードのコード \(32 ページ\)](#)

CDR フィールドの説明

次の表では、現行の CDR 内にあるすべてのフィールドを、その出現順に説明します。

表 1: CDR フィールドの説明

フィールド名	値の範囲	説明
cdrRecordType	0、1、2	<p>レコードタイプを定義します。適用される有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none">• 0 : 開始コール詳細レコード (未使用)• 1 : 終了コール詳細レコード (CDR)• 2 : CMR レコード <p>デフォルト : CDR の場合、このフィールドは常に1になります。</p>
globalCallID_callManagerId	正の整数	<p>Unified Communications Manager の一意の ID を表します。</p> <p>グローバル コール ID は、[globalCallID_callId] と [globalCallID_callManagerId] の 2 つのフィールドから構成されます。</p> <p>同じ1つの標準コールに関連付けられるすべてのレコードは、同じグローバル コール ID が設定されます。</p> <p>デフォルト : このフィールドに値が入力されていることを確認します。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
globalCallID_callId	正の整数	<p>各コールに割り当てられる一意のコール ID の値を表します。システムは、この ID を各コールサーバ上で別々に割り当てます。各値は、コール開始時に連番で選択されます。成功または不成功に関係なく、各コールには値が 1 つ割り当てられます。Unified Communications Manager が再起動されると、現在の globalCallID_callId 番号についてファイルがチェックされ、次の GlobalCallID_callId に次の 1000 番台の番号が割り当てられます。</p> <p>グローバル コール ID は、[globalCallID_callId] と [globalCallID_callManagerId] の 2 つのフィールドから構成されます。</p> <p>同じ 1 つの標準コールに関連付けられるすべてのレコードは、同じグローバル コール ID が設定されます。</p> <p>(注) Unified Communications Manager リリース 5.x 以降のリリースでは、Unified Communications Manager が再起動されても GlobalCallId CDR フィールドの値は保持されます。Release 4.x 以前のリリースでは、GlobalCallId フィールドが時間ベースですが、このフィールドは、トラフィックが混雑した状況で再使用されます。この動作が原因で、お客様の課金アプリケーションに問題が生じたり、CMR と CDR の相関および電話会議と CDR の相関を行う CAR の機能に問題が発生することがあります。Release 5.x 以降のリリースでは、GlobalCallId が再設計されたため、このフィールドの一意の値が少なくとも特定の日数の間保持されます。前回使用された globalCallId_callId 値は、定期的に (x 回のコールごとに) ディスクに書き込まれるようになりました。この値は Unified Communications Manager の再起動後に取得され、新しい globalCallId_callId 値は、この数に x を足した値で始まります。</p> <p>デフォルト：このフィールドに値が入力されていることを確認します。</p>
origLegCallIdentifier	正の整数	<p>コールの発信元レッグを示します。この値はクラスタ内で一意であることを注意してください。コールのレッグが複数のサブコールおよび CDR にわたって変化しない場合 (1 つのコール転送中であるのと同様)、この値は一定に維持されます。</p> <p>デフォルト：このフィールドに値が入力されていることを確認します。</p>
dateTimeOrigination	整数	<p>ユーザがオフフックにした日時、または着信コールに対して H.323 SETUP メッセージを受信した日時を表します。時刻は UTC として保存されます。</p> <p>デフォルト：このフィールドに値が入力されていることを確認します。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
origNodeId	正の整数	<p>コールの発信元がそのコール時に登録されているサーバ（クラスタ内のノード）を示します。</p> <p>デフォルト：このフィールドに値が入力されていることを確認します。</p>
origSpan	0、正の整数	<p>ゲートウェイが発信元のコールの場合、このフィールドは、コールの発信元である T1、PRI、または BRI トランクの B チャネル番号を示します。ただし、FXS または FXO トランクが発信元の場合は 0 の値になります。</p> <p>H.323 ゲートウェイの場合、スパン番号は不明のままになり、このフィールドには発信元のコールレグ ID が格納されます。</p> <p>ゲートウェイが発信元でないコールの場合、この値には 0 が指定されます。</p> <p>デフォルト：このフィールドには次のルールに基づいて値が入力されます。</p>
origIpAddr	整数	<p>コールシグナリングの発信側デバイスの v4 IP アドレスを示します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは電話機の v4 アドレスを表します。</p> <p>PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを表します。</p> <p>クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート Unified Communications Manager の v4 アドレスを表します。</p> <p>デフォルト：0 発信元デバイスの v4 アドレスが存在しない場合、このフィールドは 0 になります。このフィールドには次のルールに基づいて値が入力されます。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
callingPartyNumber	テキスト文字列	<p>発信側が電話番号で識別される場合、発信側番号を表す最大 25 文字の数字文字列を表します。</p> <p>発信側が ID ヘッダーで混合アドレスを使用する場合、このフィールドには混合アドレスの電話番号の部分が含まれます。</p> <p>Cisco Unified IP Phone が発信元のコールの場合、このフィールドは、使用されている回線の内線番号を示します。</p> <p>着信 H.323 コールの場合、このフィールドは、セットアップメッセージ内の発信側番号フィールドで受信された値を示します。このフィールドは、Unified Communications Manager に到達する前に発信側番号に適用される変換を反映します（ゲートウェイでの変換など）。</p> <p>サーバ コールの場合、Unified Communications Manager は発信側がない状態でハーフ コールを発信し、このフィールドが空のままになることがあります。</p> <p>callingPartyNumber には SIP URI が含まれる場合があります。</p> <p>デフォルト：このフィールドには次のルールに基づいて値が入力されます。</p>
callingPartyUnicodeLoginUserID	Unicode : UTF_8	<p>発信側のログインユーザ ID を指定します。このフィールドの形式には、UTF_8 が指定されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。ユーザ ID が存在しない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
origCause_location	0 ~ 15 原因コード値のリストについては、 コール終了原因コード (35 ページ)	<p>ISDN シグナリング リンク上で受信されるクリア原因の場合、ISDN リリースメッセージで示される [ロケーション (Location)] フィールドを表します。Q.850 の有効な値のリストについては、コール終了原因コードに関連するトピックを参照してください。</p> <p>Unified Communications Manager によって内部的に生成されるクリア原因の場合、この値には 0 が指定されます。</p> <p>デフォルト：0</p>

フィールド名	値の範囲	説明
origCause_value	0 ~ 129 原因コードの値のリストについては、「 コール終了原因コード (35 ページ) 」を参照してください。	<p>発信側がクリアしたコールの場合、クリアの理由が反映されません。</p> <p>Unified Communications Manager は、現在 Q.850 コードと Unified Communications Manager によって定義されたコードの一部を使用します。リストについては、コール終了原因コードに関するトピックを参照してください。</p> <p>着信側によってクリアされるコールの場合、このフィールドに 0 が指定されます。</p> <p>Q.850 で規定されている標準値のほか、機能（転送または会議）によってコールが分割される場合は CDR が終了し、このフィールドに 393216 が設定されます。これは、このフィールドの独自の値を表します。</p> <p>デフォルト：0</p>
origPrecedenceLevel	0 ~ 4	<p>元のログの優先レベルを表します。MLPP の場合、各コールログには優先レベルが設定されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 優先レベル 0 = フラッシュ オーバーライド/エグゼクティブ オーバーライド • 優先レベル 1 = フラッシュ • 優先レベル 2 = 即時 • 優先レベル 3 = 優先 • 優先レベル 4 = ルーチン <p>デフォルト：4</p>
origMediaTransportAddress_IP	0、整数	<p>コール用メディアの発信元デバイスの v4 IP アドレスを示します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは電話機の v4 アドレスを表します。</p> <p>PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを表します。</p> <p>クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート電話機の v4 アドレスを示します。</p> <p>デフォルト：0 メディアが確立されない場合またはアドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 になります。</p>
origMediaTransportAddress_Port	0、正の整数	<p>[OrigMediaTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられている IP ポート番号を示します。</p> <p>デフォルト：0 メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
origMediaCap_payloadCapability	0、正の整数 コーデックの完全なリストについては、「 コーデックタイプ (33 ページ) 」を参照してください。	発信元がメディアの送信に使用するコーデックタイプを示します。 現在 Unified Communications Manager では、0、1～16、18～20、25、32、33、81～86 のペイロード機能の値を使用しています。有効な値のリストについては、コーデックに関連するトピックを参照してください。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0のままになります。
origMediaCap_maxFramesPerPacket	0、正の整数	発信側から送信されるパケットあたりのデータのミリ秒数を示します。このフィールドには一般に G.729 または G.711 コーデック用の 10、20、または 30 が設定されますが、他の非ゼロの値も保管される場合があります。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0のままになります。
origMediaCap_g723BitRate	0	このフィールドは、Unified Communications Manager の現在のリリースでは使用されていません。 デフォルト：このフィールドは0のままになります。
origVideoCap_Codec	0、 100 = H.261、 101 = H.263、 103 = H.264	発信元がビデオの送信に使用するコーデックタイプを示します (H.261、H.263、または H.264)。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0のままになります。
origVideoCap_Bandwidth	0、正の整数	kbps の単位で測定された帯域幅を示します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0のままになります。

フィールド名	値の範囲	説明
origVideoCap_Resolution	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16 6 = H263 カスタム解像度 7 = W360P 8 = VGA 9 = W448P 10 = HD720P 11 = HD1080P 12 = CIF2	送信解像度を表します。H.264 コーデックまたは SIP デバイスの場合、このフィールドは、デバイスがこのコールに対して送信できる最大送信解像度を表します。 デフォルト：0 メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origVideoTransportAddress_IP	0、整数	コールの発信元デバイスの v4 IP アドレスを示します。 デフォルト：0 メディアが確立されない場合またはアドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origVideoTransportAddress_Port	0、正の整数	origVideoTransportAddress_IP フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを指定します。 デフォルト：0 メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。
origRSVPAudioStat	0 ~ 5	発信側から終端側への RSVP オーディオ予約のステータスを示します。 0：予約なし 1：コールセットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Failure 状態。 2：コールセットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Success 状態。 3：コールセットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。 4：RSVP Mid Call Failure Preempted 状態（コールセットアップの後でプリエンブション処理）。 5：RSVP Mid Call Failure Lost Bandwidth 状態（MLPP プリエンブション以外のすべてのコール中エラーを含む）。 デフォルト：0

フィールド名	値の範囲	説明
origRSVPVideoStat	0 ~ 5	<p>発信側から終端側への RSVP ビデオ予約のステータスを示します。</p> <p>0 : 予約なし</p> <p>1 : コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Failure 状態。</p> <p>2 : コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Success 状態。</p> <p>3 : コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。</p> <p>4 - RSVP Mid Call Failure Preempted 状態 (コール セットアップの後でプリエンプシジョン処理)。</p> <p>5 : RSVP Mid Call Failure Lost Bandwidth 状態 (MLPP プリエンプシジョン以外のすべてのコール中エラーを含む)。</p> <p>デフォルト : 0</p>
destLegCallIdentifier	0、正の整数	<p>コールの終了レグを示します。この値は、クラスタ内で一意になります。コールのレグが複数のサブコールおよび (結果として) 複数の CDR にわたって変化しない場合 (1 つのコール転送中であるのと同様)、この値は一定に維持されます。</p> <p>デフォルト : 0 宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
destNodeId	0、正の整数	<p>コールの終端側がそのコール時に登録されている場所 (クラスタ内のノード) を示します。</p> <p>デフォルト : 0 宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>
destSpan	0、正の整数	<p>ゲートウェイが宛先のコールの場合、このフィールドは、コールの宛先である T1、PRI、または BRI トランクの B チャネル番号を示します。ただし、FXS または FXO トランクが宛先の場合は 0 の値になります。</p> <p>H.323 ゲートウェイの場合、スパン番号は不明のままになり、このフィールドには宛先のコール レグ ID が格納されます。</p> <p>ゲートウェイで終端しないコールの場合、この値には 0 が指定されます。</p> <p>デフォルト : 0 宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
destIpAddr	0、整数	<p>コール シグナリングの終端デバイスの v4 IP アドレスを示します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは電話機の v4 アドレスを表します。</p> <p>PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを表します。</p> <p>クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート Unified Communications Manager の v4 アドレスを表します。</p> <p>デフォルト：0宛先に到達できない場合、このフィールドは0のままになります。このデバイスにv4アドレスが存在しない場合、このフィールドは0になります。</p>
originalCalledPartyNumber	テキスト文字列	<p>コール転送が行われる以前の、元のコールの提供先番号を示します。トランスレーションルールが設定されている場合、この番号には変換適用後の着信側番号が反映されます。</p> <p>混合アドレスが着信側に使用されている場合、このフィールドは混合アドレスの電話番号部分を表します。</p> <p>このフィールドには、48 文字以下の数字文字列が使用され、電話番号または SIP URL が表現されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。宛先に到達できない場合、または、着信側の番号がディレクトリ URI の場合、このフィールドは空のままです。</p>
finalCalledPartyNumber	テキスト文字列	<p>コールが応答されるか、リングアウトされるまで、コールの最終的な提供先の電話番号を示します。転送が行われない場合、この番号は [originalCalledPartyNumber] と同じ番号を示します。</p> <p>コールが最終的にディレクトリ URI に提供されると、フィールドは空のままになります。</p> <p>混合アドレスを使用する場合、このフィールドは混合アドレスの電話番号部分を表します。</p> <p>会議ブリッジへのコールの場合、このフィールドには、会議ブリッジの実際の ID が格納されます。これは、英数字の文字列になります (b0019901001 など)。</p> <p>このフィールドは、数値または SIP URL のいずれかの英数字文字列です。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。宛先に到達できない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
finalCalledPartyUnicodeLoginUserID	Unicode : UTF_8	<p>ログイン・ユーザー ID を指定します。このフィールドの形式には、UTF_8 が指定されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。ユーザ ID が存在しない場合、このフィールドは空のままになります。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
destCause_location	0 ~ 15 原因コード値のリストについては、 コール終了原因コード (35 ページ)	ISDN シグナリング リンク上で受信されるクリア原因の場合、ISDN リリース メッセージでこのロケーションフィールドが示されます。Q.850 の有効な値のリストについては、 コール終了原因コード (35 ページ) に関連するトピックを参照してください。 Unified Communications Manager によって内部的に生成されるクリア原因の場合、この値は 0 になります。 デフォルト：0 宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destCause_value	0 ~ 129 原因コードの値のリストについては、「 コール終了原因コード (35 ページ) 」を参照してください。	宛先側がコールをクリアした理由が反映されます。Q.850 の有効な値のリストについては、 コール終了原因コード (35 ページ) に関連するトピックを参照してください。 発信側がクリアするコールの場合、このフィールドは 0 のままになります。 Q.850 で規定されている標準値のほか、機能（転送または会議）によってコールが分割されるときは CDR が終了し、このフィールドに 393216 が設定されます。これは、このフィールドの独自の値を表します。 デフォルト：0 宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destPrecedenceLevel	0 ~ 4	宛先レグの優先レベルを表します。MLPP の場合、各コールレグには優先レベルが設定されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 優先レベル 0 = フラッシュ オーバーライド • 優先レベル 1 = フラッシュ • 優先レベル 2 = 即時 • 優先レベル 3 = 優先 • 優先レベル 4 = ルーチン デフォルト：4
destMediaTransportAddress_IP	0、整数	コール用メディアの終端デバイスの v4 IP アドレスを示します。 Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは電話機の v4 アドレスを表します。 PSTN コールの場合、このフィールドは、H.323 ゲートウェイの v4 アドレスを示します。 クラスタ間コールの場合、このフィールドは、リモート電話機の v4 アドレスを示します。 デフォルト：0 宛先に到達できない場合または宛先の IP アドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 のままになります。

フィールド名	値の範囲	説明
destMediaTransportAddress_Port	0、正の整数	[DestMediaTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられている IP ポート番号を示します。 デフォルト：0宛先に到達できない場合、このフィールドは0のままになります。
destMediaCap_payloadCapability	0、正の整数 コーデックの完全なリストについては、「 コーデックタイプ (33 ページ) 」を参照してください。	着信側がメディアの送信に使用するコーデック タイプを示します。 現在 Unified Communications Manager では、0、1～16、18～20、25、32、33、81～86 のペイロード機能の値を使用しています。有効な値のリストについては、コーデックに関連するトピックを参照してください。 デフォルト：0宛先に到達できない場合、このフィールドは0のままになります。
destMediaCap_maxFramesPerPacket	0、正の整数	コールの着信側から送信されるパケットあたりのデータのミリ秒数を示します。このフィールドには一般に G.729 または G.711 コーデック用の 10、20、または 30 が設定されますが、他の非ゼロの値も保管される場合があります。 メディアが確立されなければ、このフィールドに0が指定される可能性があります。 デフォルト：0宛先に到達できない場合、このフィールドは0のままになります。
destMediaCap_g723BitRate	0	このフィールドは、Unified Communications Manager の現在のリリースでは使用されていません。 デフォルト：このフィールドは0のままになります。
destVideoCap_Codec	0、 100 = H.261、 101 = H.263、 103 = H.264	着信側がビデオの送信に使用するコーデック タイプを示します (H.261、H.263、または H.264)。 デフォルト：0宛先に到達できない場合、このフィールドは0のままになります。
destVideoCap_Bandwidth	0、正の整数	帯域幅を示し、kbps 単位で測定されます。 デフォルト：0宛先に到達できない場合、このフィールドは0のままになります。

フィールド名	値の範囲	説明
destVideoCap_Resolution	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16 6 = H263 カスタム解像度 7 = W360P 8 = VGA 9 = W448P 10 = HD720P 11 = HD1080P 12 = CIF2	送信解像度を表します。H.264 コーデックまたは SIP デバイスの場合、このフィールドは、デバイスがこのコールに対して送信できる最大送信解像度を表します。 デフォルト：0 メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destVideoTransportAddress_IP	0、整数	コールを受信するデバイスの v4 IP アドレスを示します。 デフォルト：0 宛先に到達できない場合または宛先の IP アドレスが v4 ではない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destVideoTransportAddress_Port	0、正の整数	[destVideoTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを示します。 デフォルト：0 宛先に到達できない場合、このフィールドは 0 のままになります。
destRSVPAudioStat	0 ~ 5	終端から発信元に至るまでの RSVP オーディオ予約のステータスを示します。 0：予約なし 1：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Failure 状態。 2：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation Success 状態。 3：コール セットアップ時または機能呼び出し時の RSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。 4 - RSVP Mid Call Failure Preempted 状態 (コール セットアップの後でプリエンプション処理)。 5：RSVP Mid Call Failure Lost Bandwidth 状態 (MLPP プリエンプション以外のすべてのコール中エラーを含む)。 デフォルト：0

フィールド名	値の範囲	説明
destRSVPVideoStat	0 ~ 5	<p>終端から発信元に至るまでのRSVPビデオ予約のステータスを示します。</p> <p>0 : 予約なし</p> <p>1 : コールセットアップ時または機能呼び出し時のRSVP Reservation Failure 状態。</p> <p>2 : コールセットアップ時または機能呼び出し時のRSVP Reservation Success 状態。</p> <p>3 : コールセットアップ時または機能呼び出し時のRSVP Reservation No Response (RSVP Agent) 状態。</p> <p>4 - RSVP Mid Call Failure Preempted 状態 (コールセットアップの後でプリエンブション処理)。</p> <p>5 : RSVP Mid Call Failure Lost Bandwidth 状態 (MLPP プリエンブション以外のすべてのコール中エラーを含む)。</p> <p>デフォルト : 0</p>
dateTimeConnect	0、整数	<p>コール接続時の日付と時刻を示します。時刻はUTCとして保存されます。コールに応答がない場合、この値は0になります。</p> <p>デフォルト : 0 コールが接続しない場合、このフィールドは0のままになります。</p>
dateTimeDisconnect	整数	<p>コールクリア時の日付と時刻を示します。コールが接続されなかった場合でも、このフィールドは設定されます。時刻はUTCとして保存されます。</p> <p>デフォルト : このフィールドに値が入力されていることを確認します。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
lastRedirectDn	テキスト文字列	<p>25 文字以下の数字文字列を示します。この数字文字列には、電話番号または SIP URL が含まれます。</p> <p>転送されたコールの場合、このフィールドは、コールが最終的な宛先に到達する最後のホップの 1 つ前の電話番号を示します。ホップが 1 回しか起こらない場合、この番号は [originalCalledPartyNumber] と一致します。</p> <p>混合アドレスがコールアドレッシングに使用されている場合、このフィールドには混合アドレスの電話番号部分だけが含まれます。</p> <p>転送されないコールの場合、このフィールドは、[originalCalledPartyNumber] と [FinalCalledPartyNumber] に一致します。</p> <p>会議ブリッジへのコールの場合、このフィールドには、会議ブリッジの実際の ID が格納されます。これは、英数字の文字列になります (b0019901001 など)。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。コールがリダイレクトされな いか、最後のホップの 1 つ前がディレクトリ URI である場合、このフィールドは空のままになります。</p>
pkid	テキスト文字列	<p>データベースが各行を一意に識別するために内部で使用するテキスト文字列を示します。このテキスト文字列は、コール自体には意味がありません。</p> <p>デフォルト：このフィールドには一意の ID が常に設定されます。</p>
originalCalledPartyNumberPartition	テキスト文字列	<p>Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone をパーティションを別々にすることでサポートしているため、[OriginalCalledPartyNumber] フィールドに関連付けられている一意のパーティション名を示します。</p> <p>H.323 ゲートウェイ経由で発信するコールの場合、このフィールドは、そのゲートウェイを指すルートパターンに関連付けられているパーティション名を一意に示します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。元の着信側にパーティションが設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
callingPartyNumberPartition	テキスト文字列	<p>Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone をパーティションを別々にすることでサポートしているため、[CallingPartyNumber] フィールドに関連付けられている一意のパーティション名を示します。</p> <p>H.323 ゲートウェイ経由で着信するコールの場合、このフィールドは空白のままになります。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。元の着信側にパーティションが設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
finalCalledPartyNumberPartition	テキスト文字列	<p>Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone をパーティションを別々にすることでサポートしているため、[FinalCalledPartyNumber] フィールドに関連付けられている一意のパーティション名を示します。</p> <p>H.323 ゲートウェイ経由で発信するコールの場合、このフィールドは、そのゲートウェイを指すルートパターンに関連付けられているパーティション名を一意に示します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。最終着信側にパーティションが設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
lastRedirectDnPartition	テキスト文字列	<p>Unified Communications Manager では同じ内線番号を持つ複数の Cisco Unified IP Phone をパーティションを別々にすることでサポートしているため、[LastRedirectDn] フィールドに関連付けられている一意のパーティション名を示します。</p> <p>H.323 ゲートウェイ経由で発信するコールの場合、このフィールドは、そのゲートウェイを指すルートパターンに関連付けられているパーティション名を示します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。最後のリダイレクト元にパーティションが設定されていない場合またはコールがリダイレクトされなかった場合、このフィールドは空のままになります。</p>
duration	0、正の整数	<p>接続時刻と切断時刻の差を示します。このフィールドには、コールの接続状態が維持されている時間が秒単位で指定されます。コールが接続しない場合、またはコールの接続時間が1秒未満の場合、このフィールドは0のままになります。</p> <p>デフォルト：0</p>
origDeviceName	テキスト文字列	<p>発信元デバイスの名前を識別するテキスト文字列を示します。</p> <p>デフォルト：このフィールドに値が入力されていることを確認します。</p>
destDeviceName	テキスト文字列	<p>宛先デバイスの名前を識別するテキスト文字列を示します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。元のデバイスに名前が設定されていない場合、このフィールドは空のままになります。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
origCallTerminationOnBehalfOf	0、正の整数 フィールドの完全な一覧については、 OnBehalfOf コード (45 ページ)	発信元が停止した原因を識別するコードを示します。 たとえば、コールの発信元によって電話が切られると、OnBehalfOf コードは、デバイスを表す「12」になります。転送が原因でコールが停止すると、OnBehalfOf コードは、転送を表す「10」になります。 コードのリストについては、CDR フィールドの説明に関連するトピックを参照してください。このリリースでは、新しいOnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0
destCallTerminationOnBehalfOf	0、正の整数 フィールドの完全な一覧については、 OnBehalfOf コード (45 ページ)	宛先が停止した原因を識別するコードを示します。 たとえば、コールの宛先によって電話が切られると、OnBehalfOf コードは、デバイスを表す「12」になります。転送が原因でコールが停止すると、OnBehalfOf コードは、転送を表す「10」になります。 コードのリストについては、CDR フィールドの説明に関連するトピックを参照してください。このリリースでは、新しいOnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0
origCalledPartyRedirectOnBehalfOf	0、正の整数 フィールドの完全な一覧については、 OnBehalfOf コード (45 ページ)	元の着信側がリダイレクトされた理由を識別するコードを示します。 たとえば、元の着信側が会議のためにリダイレクトされた場合、OnBehalfOf コードは「4」を示します。 コードのリストについては、CDR フィールドの説明に関連するトピックを参照してください。このリリースでは、新しいOnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0
lastRedirectRedirectOnBehalfOf	0、整数 すべての [OnBehalfOf] フィールドのリストについては、「 OnBehalfOf コード (45 ページ) 」を参照してください。	最終リダイレクト者がリダイレクトされた理由を識別するコードを示します。 たとえば、最終リダイレクト者が会議のためにリダイレクトされた場合、OnBehalfOf コードは「4」を示します。 コードのリストについては、CDR フィールドの説明に関連するトピックを参照してください。このリリースでは、新しいOnBehalfOf コードが追加されています。 デフォルト：0

フィールド名	値の範囲	説明
origCalledPartyRedirectReason	0、整数 すべての [OnBehalfOf] フィールドのリストについては、「 リダイレクト理由コード (42 ページ) 」を参照してください。	元の着信側がリダイレクトされた理由を示します。 完全なコードの一覧については、リダイレクト原因コードに関連するトピックを参照してください。 デフォルト：0
lastRedirectRedirectReason	0、整数 すべての [OnBehalfOf] フィールドのリストについては、「 リダイレクト理由コード (42 ページ) 」を参照してください。	リダイレクションの最後のリダイレクト理由を示します。 完全なコードの一覧については、リダイレクト原因コードに関連するトピックを参照してください。 デフォルト：0
destConversationID	0、整数	会議コールの参加者を識別するために使用される固有識別子を指定します。 会議チェーン シナリオの場合、[origConversationID] フィールドと [destConversationID] フィールドにより、連結されている会議が識別されます。 デフォルト：0
globalCallId_ClusterId	テキスト文字列	Unified Communications Manager のクラスタを識別する一意の ID を示します。 フィールドは、インストール時に生成され、Unified Communications Manager では使用されません。 [globalCallId_ClusterId] + [globalCallId_CMId] + [globalCallId_CallId] により、この一意のキーは構成されます。 デフォルト：このフィールドは常に設定されています。
joinOnBehalfOf	0、整数 すべての [OnBehalfOf] フィールドのリストについては、「 OnBehalfOf コード (45 ページ) 」を参照してください。	結合の理由を識別するコードを示します。 たとえば、転送のために結合が行われると、OnBehalfOf コードは「10」になります。 コードのリストについては、CDR フィールドの説明に関連するトピックを参照してください。 デフォルト：0

フィールド名	値の範囲	説明
コメント	テキスト文字列	各機能が CDR にテキストを追加できます。このテキストにより、コールに関する詳細情報が記述されます。 たとえば、次のフィールドは、迷惑コールであることを示すフラグです。 タグ：CallFlag 値：MALICIOUS デフォルト：空の文字列「」。
authCodeDescription	テキスト文字列	FAC についての詳細な説明が記載されています。 デフォルト：空の文字列「」または null。
authorizationLevel	0、整数	FAC のレベルを表示します。 デフォルト：0
clientMatterCode	テキスト文字列	クライアント識別コードを示します。システムがコールを拡張する前に、ユーザは、アカウントコードや課金コードをコールに割り当てるために使用されるクライアント識別コードを入力します。 デフォルト：空の文字列「」または null。
origDTMFMethod	0、正の整数	発信元が使用する DTMF 方式を示します。 0：DTMF の指定なし：任意の一致する DTMF を使用します。 1：OOB：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが OOB をサポートしていれば、それを使用します。 2：2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが RFC2833 をサポートしていれば、それを使用します。 3：OOB と 2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが KPML と RFC2833 の両方をサポートしていれば、それらの両方を使用します。 4：不明 デフォルト：0（初期設定なし）
destDTMFMethod	0、正の整数	宛先が使用する DTMF 方式を示します。 0：DTMF の指定なし：任意の一致する DTMF を使用します。 1：OOB：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが OOB をサポートしていれば、それを使用します。2：2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが RFC2833 をサポートしていれば、それを使用します。3：OOB と 2833：SIPTrunk の背後にあるエンドポイントが KPML と RFC2833 の両方をサポートしていれば、それらの両方を使用します。4：不明。 デフォルト：0（初期設定なし）

フィールド名	値の範囲	説明
callSecuredStatus	0、正の整数	<p>コール中に到達した最高のセキュリティステータスを示します。たとえば、コールが最初はセキュリティ保護されておらず、後で保護された状態になると、コールの別の部分のステータス値は異なる場合でも、CDRの[セキュリティ保護 (Secured)]「」は1になります。</p> <p>0 : セキュリティ保護されていない 1 : 認証されている (暗号化なし) 2 : セキュリティ保護されている (暗号化あり) デフォルト : 0 (セキュリティ保護されていない)</p>
origConversationID	整数	<p>コールの発信元ログに関連付けられている会議 ID を示します。ほとんどの場合、このフィールドは0になります。</p> <p>会議チェーン シナリオの場合、[origConversationID] フィールドと [destConversationID] フィールドにより、連結されている会議が識別されます。</p> <p>デフォルト : 0</p>
origMediaCap_Bandwidth	0、正の整数	<p>コールの発信元で使用されるメディア帯域幅を示します。</p> <p>デフォルト : 0</p>
destMediaCap_Bandwidth	0、正の整数	<p>コールの宛先で使用されるメディア帯域幅を示します。</p> <p>デフォルト : 0</p>
authorizationCodeValue	テキスト文字列	<p>コールに関連付けられている強制承認コード (FAC) を示します。</p> <p>デフォルト : 空の文字列「」 または null。</p>
outpulsedCallingPartyNumber	テキスト文字列	<p>50 文字以下の英数字文字列で構成されます。</p> <p>発信側番号は、デバイスからアウトパルスされます。このフィールドは、デバイスにおいて正規化またはローカリゼーションが行われる場合にのみ設定されます。</p> <p>デフォルト : 空の文字列「」 または null。</p>
outpulsedCalledPartyNumber	テキスト文字列	<p>50 文字以下の英数字文字列で構成されます。</p> <p>着信側番号は、デバイスからアウトパルスされます。このフィールドは、デバイスにおいて正規化またはローカリゼーションが行われる場合にのみ設定されます。</p> <p>デフォルト : 空の文字列「」 または null。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
origIpv4v6Addr	テキスト文字列	<p>64 文字以下の英数字文字列で構成されます。</p> <p>このフィールドは、コールシグナリングの発信側デバイスの IP アドレスを示します。このフィールドは、コールに使用される IP アドレスのタイプに応じて IPv4 形式と IPv6 形式のいずれかになります。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは Cisco Unified IP Phone のアドレスです。PSTN コールの場合、このフィールドはゲートウェイのアドレスです。クラスタ間コールの場合、このフィールドはリモート Unified Communications Manager のアドレスです。</p> <p>IP アドレスは、ドット付き 10 進表記またはコロン区切り 16 進表記のいずれかになります。</p> <p>[デフォルト (Default)]: デバイスによって報告された、またはメディアネゴシエーション後のコールに使用された、発信元デバイスの IP アドレス。</p>
destIpv4v6Addr	テキスト文字列	<p>64 文字以下の英数字文字列で構成されます。</p> <p>このフィールドは、コールシグナリングの終端デバイスの IP アドレスを示します。このフィールドは、コールに使用される IP アドレスのタイプに応じて IPv4 形式と IPv6 形式のいずれかになります。</p> <p>Cisco Unified IP Phone の場合、このフィールドは Cisco Unified IP Phone のアドレスです。PSTN コールの場合、このフィールドはゲートウェイのアドレスです。クラスタ間コールの場合、このフィールドはリモート Unified Communications Manager のアドレスです。</p> <p>IP アドレスは、ドット付き 10 進表記またはコロン区切り 16 進表記のいずれかになります。</p> <p>デフォルト: 空の文字列「」または null。宛先に到達しない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
origVideoCap_Codec_Channel2	0、 100 = H.261、 101 = H.263、 103 = H.264、	<p>発信側が 2 番目のビデオチャネルのビデオを転送するのに使用するコーデックタイプ (H.261、H.263、または H.264) を指定します。</p> <p>デフォルト: 0。メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、このコールに対して H.239 および BFCP がサポートされていない場合にも、このフィールドは 0 を示します。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
origVideoCap_Bandwidth_Channel2	0、正の整数	2番目のビデオチャンネルに対して kbps の単位で測定された帯域幅を示します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0を示します。また、このコールに対して H.239 および BFCP がサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
origVideoCap_Resolution_Channel2	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16 6 = H263 カスタム解像度 7 = W360P 8 = VGA 9 = W448P 10 = HD720P 11 = HD1080P 12 = CIF2	2番目のビデオチャンネルの送信解像度を示します。H.264 コーデックまたは SIP デバイスの場合、このフィールドは、デバイスがこのコールに対して送信できる最大送信解像度を表します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0のままになります。また、このコールに対して H.239 および BFCP がサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
origVideoTransportAddress_IP_Channel2	0、整数	2番目のビデオチャンネルのコールを発信するデバイスの v4 IP アドレスを指定します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0を示します。また、このコールに対して H.239 および BFCP がサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
origVideoTransportAddress_Port_Channel2	0、正の整数	2番目のビデオチャンネル用に [origH239VideoTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを示します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0を示します。また、このコールに対して H.239 および BFCP がサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
origVideoChannel_Role_Channel2	0 = 表示ロール、 1 = ライブロール、 正の整数	発信元デバイスの H.239 ビデオチャンネル ロールを指定します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは0を示します。

フィールド名	値の範囲	説明
destVideoCap_Codec_Channel2	0、 100 = H.261、 101 = H.263、 103 = H.264	着信側が 2 番目のビデオ チャンネルのビデオを転送するのに使用するコーデックタイプ (H.261、H.263、またはH.264) を指定します。 デフォルト：0宛先に到達できない場合、このフィールドは0のままになります。また、このコールに対してH.239およびBFCPがサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
destVideoCap_Bandwidth_Channel2	0、正の整数	2 番目のビデオ チャンネルに対して kbps の単位で測定された帯域幅を示します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0を示します。また、このコールに対してH.239およびBFCPがサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
destVideoCap_Resolution_Channel2	0、 1 = SQCIF、 2 = QCIF、 3 = CIF、 4 = CIF4、 5 = CIF16 6 = H263 カスタム解像度 7 = W360P 8 = VGA 9 = W448P 10 = HD720P 11 = HD1080P 12 = CIF2	2 番目のビデオ チャンネルの送信解像度を示します。H.264 コーデックまたはSIPデバイスの場合、このフィールドは、デバイスがこのコールに対して送信できる最大送信解像度を表します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0のままになります。また、このコールに対してH.239およびBFCPがサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
destVideoTransportAddress_IP_Channel2	0、整数	コールを受信するデバイスの v4 IP アドレスを示します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0を示します。また、このコールに対してH.239およびBFCPがサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。
destVideoTransportAddress_Port_Channel2	0、正の整数	[destH239VideoTransportAddress_IP] フィールドに関連付けられているビデオ RTP ポートを指定します。 デフォルト：0メディアが確立されない場合、このフィールドは0を示します。また、このコールに対してH.239およびBFCPがサポートされていない場合にも、このフィールドは0を示します。

フィールド名	値の範囲	説明
destVideoChannel_Role_Channel2	0 = 表示ロール、 1 = ライブ ロール、 正の整数	コールを受信するデバイスの H.239 ビデオ チャネル ロールを指定します。 デフォルト：0 メディアが確立されない場合、このフィールドは 0 を示します。また、H.239 がサポートされていない場合も、このフィールドは 0 を示します。
incomingProtocolID	0 = 不明、 1 = SIP、 2 = H323、 3 = CTI/JTAPI、 4 = Q931、 整数	コールパス内で Cisco Unified CM とアップストリーム音声製品との間で使用されるプロトコル（SIP、H.323、CTI/JTAPI、または Q.931）を示します。
incomingProtocolCallRef	Varchar(32)	プロトコル用のグローバルに一意的なコール参照 ID を示します。値はアップストリーム音声製品から受信します。値は英数字で、32 文字を超えた部分は切り捨てられます。
outgoingProtocolID	0 = 不明、 1 = SIP、 2 = H323、 3 = CTI/JTAPI、 4 = Q931、 整数	コールパス内で Cisco Unified CM とダウンストリーム音声製品との間で使用されるプロトコル（SIP、H.323、CTI/JTAPI、または Q.931）を示します。
outgoingProtocolCallRef	Varchar(32)	プロトコル用のグローバルに一意的なコール参照 ID を示します。この値は、次のダウンストリーム音声製品に渡されます。値は英数字で、32 文字を超えた部分は切り捨てられます。
currentRoutingReason	正の整数 フィールド値については、 外部コール制御のルーティング原因値 (31 ページ)	アクティブなコールに対してコールが傍受された理由を表示します。このフィールドは、外部コール制御機能で使用されます。理由のリストについては、外部コール制御のルーティング原因値に関連するトピックを参照してください。 デフォルト値は 0 です。
origRoutingReason	正の整数 すべての [OnBehalfOf] フィールドのリストについては、「 OnBehalfOf コード (45 ページ) 」を参照してください。	コールが初めてインターセプトされた理由を表示します。このフィールドは、外部コール制御機能で使用されます。理由のリストについては、外部コール制御のルーティング原因値に関連するトピックを参照してください。 デフォルト値は 0 です。

フィールド名	値の範囲	説明
lastRedirectingRoutingReason	正の整数 すべての [OnBehalfOf] フィールドのリストについては、「 OnBehalfOf コード (45 ページ) 」を参照してください。	呼び出しが最後に傍受された理由を表示します。このフィールドは、外部コール制御機能で使用されます。理由のリストについては、外部コール制御のルーティング原因値に関連するトピックを参照してください。 デフォルト：空の文字列。
huntPilotPartition	テキスト文字列	ハントパイロット DN のパーティションを示します。 デフォルト：空の文字列。
huntPilotDN	テキスト文字列	コールをルーティングするハントパイロット DN を示します。 デフォルト：空の文字列。

フィールド名	値の範囲	説明
calledPartyPatternUsage	正の整数	<p>着信側のパターンを示します。</p> <p>デフォルト値は 5 (PATTERN_ROUTE) です。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [huntPilotDN] が設定されている場合は、[huntPilotDN] フィールドの値をハントパイロットとして使用します。 • [huntPilotDN] を使用できない場合は、CDR テーブル内でパターンの使い方 (7=PATTERN_HUNT_PILOT) を確認してコールタイプを特定します。このコールがハントリストコールの場合は、[finalCalledPartyNumber] を [huntPilotDN] として使用します。 <p>フィールドに指定できる値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 CallPark PATTERN_CALL_PARK • 1 Conference PATTERN_CONF • 2 Device PATTERN_DEVICE • 3 Translation PATTERN_TRANSLATION • 4 Call Pick Up Group PATTERN_CALL_PICK_UP_GROUP • 5 Route PATTERN_ROUTE • 6 Message Waiting PATTERN_MESSAGE_WAITING • 7 Hunt Pilot PATTERN_HUNT_PILOT • 8 Voice Mail Port PATTERN_VOICE_MAIL_PORT • 9 Domain Routing PATTERN_ROUTE_DOMAIN • 10 IPAddress Routing PATTERN_ROUTE_IPNET • 11 Device template PATTERN_DEVICE_TEMPLATE • 12 Directed Call Park PATTERN_DIRECTED_CALL_PARK • 13 Device Intercom PATTERN_DEVICE_INTERCOM • 14 Translation Intercom PATTERN_TRANSLATION_INTERCOM • 15 Translation Calling Party Number PATTERN_TRANSLATION_CALLING_PARTY_NUMBER • 16 Mobility Handoff PATTERN_MOBILITY_HANDOFF • 17 Mobility DTMF PATTERN_MOBILITY_DTMF • 18 Mobility IVR PATTERN_MOBILITY_IVR • 19 Device Intercom Template PATTERN_DEVICE_INTERCOM_TEMPLATE

フィールド名	値の範囲	説明
incomingICID	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>このフィールドには、コールの着信コールレグの P-Charging ベクターから IMS ID (ICID) が入力されます。</p> <p>このフィールドは、P-Charging ベクターが有効な IMS または SIP トランクがない場合は空です。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
incomingOrigIOI	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>このフィールドには、コールの着信コールレグの P-Charging ベクターから、発信元のオペレータ間 ID (IOI) が入力されます。</p> <p>このフィールドは、P-Charging ベクターが有効な IMS または SIP トランクがない場合は空です。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
incomingTermIOI	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>このフィールドには、コールの着信コールレグの P-Charging ベクターから、宛先のオペレータ間 ID (IOI) が入力されます。</p> <p>このフィールドは、P-Charging ベクターが有効な IMS または SIP トランクがない場合は空です。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
outgoingICID	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>このフィールドには、コールの送信コールレグの P-Charging ベクターから IMS ID (ICID) が入力されます。</p> <p>このフィールドは、P-Charging ベクターが有効な IMS または SIP トランクがない場合は空です。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
outgoingOrigIOI	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>このフィールドには、コールの送信コールレグの P-Charging ベクターから、発信元のオペレータ間 ID (IOI) が入力されます。</p> <p>このフィールドは、P-Charging ベクターが有効な IMS または SIP トランクがない場合は空です。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
outgoingTermIOI	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>このフィールドには、コールの送信コールレグの P-Charging ベクターから、宛先のオペレータ間 ID (IOI) が入力されます。</p> <p>このフィールドは、P-Charging ベクターが有効な IMS または SIP トランクがない場合は空です。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
outpulsedCalledPartyNumber	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>デバイスからアウトパルスされた元の着信側番号です。詳細については、番号変換のリダイレクトに関するセクションを参照してください。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
outpulsedLastRedirectingNumber	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の英数字文字列で指定します。</p> <p>デバイスからアウトパルスされた最終リダイレクト番号です。詳細については、番号変換のリダイレクトに関するセクションを参照してください。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
wasCallQueued	正の整数	<p>コールがキューに入ったかどうかを指定します。値 0 は、コールがキューに入っていないことを、1 はコールがキューに入ったことを意味します。</p>
totalWaitTimeInQueue	正の整数	<p>発信側がキューに保持されている時間を示します。値は秒で指定されます。コールがキューに入らない場合、値は 0 になります。</p>
callingPartyNumber_uri	テキスト文字列	<p>発信側がコール アドレッシングにディレクトリ URI を使用している場合に、発信側を識別する最大 254 文字の英数字文字列を表します。</p> <p>発信側が ID ヘッダーで混合アドレスを使用する場合、このフィールドには混合アドレスのディレクトリ URI の部分が含まれます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。発信側がディレクトリ URI を使用しない場合、このフィールドは空のままになります。</p>
originalCalledPartyNumber_uri	テキスト文字列	<p>コールがディレクトリ URI 宛ての場合、あらゆるコール転送の前に、元のコールの宛先となるディレクトリ URI を表す最大 254 文字の英数字文字列を表します。</p> <p>混合アドレスが着信側に使用されている場合、このフィールドは混合アドレスのディレクトリ URI の部分を表します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。宛先に到達できない場合、または、着信側の番号が電話番号の場合、このフィールドは空のままです。</p>

フィールド名	値の範囲	説明
finalCalledPartyNumber_uri	テキスト文字列	<p>最終アドレスがディレクトリ URI の場合に、コールが最終的に提示されるディレクトリ URI アドレスを表す、最大 254 文字の英数字文字列を表します。転送が行われない場合、このフィールドは [originalCalledPartyNumber] と同じディレクトリ URI を番号を表します。</p> <p>混合アドレスが着信側の番号に使用されている場合、このフィールドは混合アドレスのディレクトリ URI の部分を表します。</p> <p>会議ブリッジへのコールの場合、このフィールドには、会議ブリッジの実際の ID が格納されます。これは、英数字の文字列になります (b0019901001 など)。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。宛先に到達できない場合、または着信側のアドレスに電話番号が使用されている場合、このフィールドは空のままです。</p>
lastRedirectDn_uri	テキスト文字列	<p>最大 254 文字の英数字文字列を表します。</p> <p>アドレス処理にディレクトリ URI を使用している転送コールの場合、このフィールドはコールが最終的な宛先に到達する最後のホップの 1 つ前のディレクトリ URI を示します。ホップが 1 回しか起こらない場合、この番号は [originalCalledPartyNumber_uri] と一致します。</p> <p>混合アドレスを使用する場合、このフィールドには混合アドレスのディレクトリ URI 部分だけが含まれます。</p> <p>転送されないコールの場合、このフィールドは、[originalCalledPartyNumber_uri] と [finalCalledPartyNumber_uri] に一致します。</p> <p>会議ブリッジへのコールの場合、このフィールドには、会議ブリッジの実際の ID が格納されます。これは、英数字の文字列になります (b0019901001 など)。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。コールがリダイレクトされないか、アドレスが電話番号の場合は、このフィールドは空のままになります。</p>
mobileCallingPartyNumber	テキスト文字列	<p>元の発信デバイスがモバイル デバイスの場合、携帯電話番号を示します。</p> <p>元の発信デバイスがモバイル デバイスでない場合、このフィールドは空のままになります。</p> <p>デフォルト：空の文字列</p>
finalMobileCalledPartyNumber	テキスト文字列	<p>最終着信デバイスがモバイル デバイスの場合、モバイル着信側を示します。</p> <p>最終着信デバイスがモバイル デバイスでない場合、このフィールドは空のままになります。</p> <p>デフォルト：空の文字列</p>

フィールド名	値の範囲	説明
origMobileDeviceName	テキスト文字列	<p>モバイルデバイスからのコールの場合、発信側のデバイス名を示します。</p> <p>モバイルコールがリモート接続先プロファイルを使用する場合、デバイス名はモバイル番号とリモート接続先プロファイル名になります。たとえば、モバイル番号: RDP 名。</p> <p>モバイルデバイスがモバイルIDを使用する場合、デバイス名はモバイルID名になります。</p> <p>元のデバイスがモバイルデバイスでない場合、このフィールドは空のままになります。</p> <p>デフォルト: 空の文字列</p>
destMobileDeviceName	テキスト文字列	<p>宛先のモバイルデバイスの名前を指定します。</p> <p>モバイルデバイスがリモート接続先プロファイルを使用する場合、デバイス名は携帯電話番号とリモート接続先プロファイル名になります。たとえば、モバイル番号: RDP 名。</p> <p>モバイルデバイスがモバイルIDを使用する場合、デバイス名はモバイルID名になります。</p> <p>接続先デバイスがモバイルデバイスでない場合、このフィールドは空のままになります。</p> <p>デフォルト: 空の文字列</p>
origMobileCallDuration	正の整数	<p>発信側がモバイルデバイスの場合、発信元デバイスのモバイルネットワークでの通話時間を示します。</p> <p>発信側がモバイルデバイスでない場合、このフィールドは空のままになります。</p> <p>デフォルト: 0</p>
destMobileCallDuration	正の整数	<p>宛先デバイスがモバイルデバイスの場合、宛先デバイスのモバイルネットワークでの通話時間を示します。</p> <p>接続先デバイスがモバイルデバイスでない場合、このフィールドは空のままになります。</p> <p>デフォルト: 0</p>
mobileCallType	正の整数	<p>このモバイルコールで起動したモビリティ機能を示します。</p> <p>デフォルト: 0</p>

フィールド名	値の範囲	説明
originalCalledPartyPattern	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の数字列（特殊文字を含む）を示します。</p> <p>これは、設定されたトランスレーションが適用される前に元のコールが配置されるパターンです。</p> <p>トランスレーション パターンの呼び出しは、トランスレーション パターンに設定された変換を適用した後、常にパターンを設定します。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
finalCalledPartyPattern	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の数字文字列（特殊文字を含む）を示します。</p> <p>コールが応答されるまたは呼び出し音が終了するまでコールが提示される最終着信側のパターンです。転送が発生しなかった場合、このパターンは originalCalledPartyPattern と同じです。このフィールドは、設定されたトランスレーションルールが適用される前のパターンを示します。</p> <p>番号がトランスレーションのないダイレクト マッチの場合、この値は [finalCalledPartyNumber] と同じになります。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
lastRedirectingPartyPattern	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の数字文字列（特殊文字を含む）を示します。</p> <p>コールが現在の着信側にリダイレクトされる現在の最後の通話者のパターン。リダイレクトがない場合、このフィールドは [originalCalledPartyPattern] と同じ値になります。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。</p>
huntPilotPattern	テキスト文字列	<p>最大 50 文字の数字文字列（特殊文字を含む）を示します。</p> <p>データベースで設定された huntPilot パターン。このフィールドは、直接配置されるか huntPilot へのリダイレクトによって配置されるコールに HuntPilot メンバーが応答する場合にのみ入力されます。</p> <p>デフォルト：空の文字列「」。応答する huntPilot メンバーがない場合、このフィールドは空です。</p>
折り込みデバイスタイプ	テキスト文字列	<p>コールを開始したデバイスが、Spark リモートデバイスを介してシスコユニファイドコミュニケーションマネージャに固定されている Spark クライアントであったかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • はいの場合、このフィールドは「シスコスパークリモートデバイス」を示します。 • このフィールドが空の場合は、このフィールドは空です。

フィールド名	値の範囲	説明
デバイスタイプ	テキスト文字列	<p>呼び出されたデバイスが、Spark リモートデバイス経由でシスコユニファイドコミュニケーションマネージャに固定されている Spark クライアントであったかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • はいの場合、このフィールドは「シスコsparkリモートデバイス」を示します。 • このフィールドが空の場合は、このフィールドは空です。 <p>(注) Spark クライアントが「リング」で CDR ログ コールの期間がゼロのフラグ サービス パラメータが True の場合、エンタープライズ番号が「すべての共有回線呼び出す」設定でダイヤルされた場合でも、このフィールドは「CiscoSparkRemoteDevice」として設定されます。</p>
折り込みデバイスセッションID	テキスト文字列	<p>発信元デバイスの呼び出しセッション ID を示します。</p> <p>セッションが終了すると、システムは CDR レコードを生成し、そのフィールドには特定のコールの発信元デバイスのセッション ID が設定されます。</p> <p>(注) CDR サービス パラメータ 'CDR ログ コールとゼロ期間フラグ' が 'True' に設定されている場合、コールが応答されない場合でも、このフィールドが設定されます。</p> <p>このフィールドの最大長は 127 文字に制限されています。たとえば、origDeviceSessionID = ab30317fla784dc48f824d0d3715d86 デフォルト：空の文字列「」。</p>
デストデバイスセッションID	テキスト文字列	<p>宛先デバイスの呼び出しセッション ID を示します。</p> <p>セッションが終了すると、システムは CDR レコードを生成し、特定のコールの宛先デバイスのセッション ID がフィールドに入力されます。</p> <p>このフィールドの最大長は 127 文字に制限されています。たとえば、destDeviceSessionID = 47755a9de7794ba387653f2099600ef2 デフォルト：空の文字列「」。</p>

外部コール制御のルーティング原因値

Unified Communications Manager では、外部コール制御機能をサポートしています。この機能では、別建てルーティングサーバが、Cisco Unified Routing Rules Interface を使用して、Unified Communications Manager の代わりにコールルーティングを決定します。外部コール制御を設定すると、Unified Communications Manager は、発信側および着信側の情報を含むルート要求を付加ルートサーバに発行します。付加ルートサーバは要求を受信すると、適切なビジネスロジック

クを適用し、コールのルーティング方法とコールに適用すべき追加のコール処理を Unified Communications Manager に指示するルート応答を返します。

付加ルート サーバは、コールの許可/転送/拒否、発信側および着信側の情報の変更、発信者へのアナウンスの再生、付加ボイスメール サーバと IVR サーバが発信側/着信側の情報を適切に解釈できるようにするためのコール履歴のリセット、コールが転送または拒否された理由を示す理由コードの記録を Unified Communications Manager に指示できます。

次の表に、[currentRoutingReason]、[origRoutingReason]、または [lastRedirectingRoutingReason] フィールドに示される可能性がある原因を示します。

表 2: 外部コール制御のルーティング原因値

フィールド値	理由	説明
0	PDPDecision_NONE	この値は、ルーティング サーバが Unified Communications Manager に対してルーティング 指令を返さなかったことを示します。
1	PDPDecision_Allow_Fulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを許可したことを示します。
2	PDPDecision_Allow_Unfulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを許可しなかったことを示します。
3	PDPDecision_Divert_Fulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを転送したことを示します。
4	PDPDecision_Divert_Unfulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを転送できなかったことを示します。
5	PDPDecision_Forward_Fulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを転送したことを示します。
6	PDPDecision_Forward_Unfulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを転送できなかったことを示します。
7	PDPDecision_Reject_Fulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを拒否したことを示します。
8	PDPDecision_Reject_Unfulfilled	この値は、Unified Communications Manager が コールを拒否できなかったことを示します。

シスコのコール詳細レコードのコード

この章では、[コール詳細レコード (Call Detail Record)] フィールドで使用するコーデック タイプとコードについて説明します。

コーデックタイプ

次の表に、コーデックのフィールドに表示される可能性のある圧縮タイプとペイロードタイプを一覧します。

表 3: コーデックタイプ

値	説明
1	NonStandard
2	G711Alaw 64k
3	G711Alaw 56k
4	G711mu-law 64k
5	G711mu-law 56k
6	G722 64k
7	G722 56k
8	G722 48k
9	G7231
10	G728
11	G729
12	G729AnnexA
13	Is11172AudioCap
18	Is13818AudioCap
15	G.729AnnexB
16	G.729 Annex AwAnnexB
18	GSM Full Rate
19	GSM Half Rate
20	GSM Enhanced Full Rate
25	ワイドバンド 256K
32	データ 64k
33	データ 56k
40	G7221 32K

値	説明
41	G7221 24K
54	AAC
43	MP4ALATM_128
44	MP4ALATM_64
45	MP4ALATM_56
46	MP4ALATM_48
47	MP4ALATM_32
48	MP4ALATM_24
49	MP4ALATM_NA
80-	GSM
81	ActiveVoice
82	G726 32K
83	G726 24K
84	G726 16K
86	iLBC
89	iSAC
90	OPUS
100	H261
101	H263
102	Vieo
103	H264
104	H264_SVC
105	T120
106	H224
107	T38Fax
108	TOTE
109	H265
110	H264_UC

値	説明
111	XV150_MR_711U
112	NSE_VBD_711U
113	XV150_MR_729A
114	NSE_VBD_729A
115	H264_FEC
120	Clear_Chan
222	Universal_Xcoder
257	RFC2833_DynPayload
258	PassThrough
259	Dynamic_Payload_PassThru
260	DTMF_OOB
261	Inband_DTMF_RFC2833
299	NoAudio
300	v150_LC_ModemRelay
301	v150_LC_SPRT
302	v150_LC_SSE
303	T-38 ファックス

コール終了原因コード

次の表に、CDR の [原因 (Cause)] フィールドに表示される可能性があるコール終了原因コードを示します。



- (注) 原因コードはコール制御において正の整数で定義されています。これは、32ビットの符号なし (ロング型) の正の整数であり、値の範囲は 0 から +4,294,967,295 までです。

表 4: コール終了原因コード

コード	説明
0	エラーなし

コード	説明
1	未割り当て番号
2	指定された中継ネットワークへのルートがない（国際使用）
3	宛先へのルートがありません
4	特殊情報トーンの送信
5	トランク プレフィックスのかけ間違い（国際使用）
6	チャンネルが受け入れ不可能
7	コールが確立されたチャンネル内で与えられ、配信されている
8	プリエンプション（Preemption）
9	プリエンプション回路が再利用に予約されている
16	正常なコールクリア
17	ユーザーが通話中です
18	応答ユーザなし
19	ユーザからの応答がありません（「無応答時の呼び出し時間（No Answer Ring duration）」の値が T301 タイマーの値よりも大きく、T301 タイマーの期限が切れると、Call Forwarding No Answer（CFNA）機能が呼び出されます）。
20	加入者不在
21	コールが拒否されました
22	番号が変更されました
25	自然な交換ルーティング エラー
26	非選択ユーザーのクリア
27	宛先の故障
36	無効な番号形式（アドレスが不完全）
29	ファシリティが拒否されました
30	ステータス問い合わせへの応答
31	正常、詳細不明
34	利用できる回路/チャンネルがない

コード	説明
38	ネットワークの故障
39	永久フレーム モード接続がアウト オブ サービス
40	永久フレーム モード接続が動作している
41	一時エラー発生
42	スイッチング機器の輻輳
43	アクセス情報が破棄された
44	要求された回路/チャンネルが利用できない
46	先のコールがブロックされた
47	リソースの利用不可、未指定
49	QoS が利用できない
50	要求されたファシリティがサブスクライブされていない
53	サービス運用違反
54	着信コール除外
55	非公開ユーザ グループ (CUG) 内で着信コール除外
57	ベアラ機能が認められていません
58	ベアラ機能が現在使用できない
62	指定された発信アクセス情報と加入者クラスが矛盾している
63	サービスまたはオプションが利用不可、未指定
65	ベアラ機能が実装されていない
66	チャンネル タイプが実装されていない
69	要求されたファシリティが実装されていない
70	制限されたデジタル情報ベアラ機能しか利用できない (国際使用)
79	サービスやオプションが実装されていない、または未指定
81	無効なコール参照値
82	識別されたチャンネルが存在しない
83	サスペンドされたコールがあるが、このコール ID がない

コード	説明
84	コール ID が使用中
85	サスペンドされたコールなし
86	要求されたコール ID を持つコールがクリアされている
87	ユーザが CUG (非公開ユーザ グループ) のメンバでない
88	宛先に互換性がありません
90	宛先番号がなく、DC がサブスクライブされていない
91	無効な中継ネットワーク (国際使用)
95	無効なメッセージ、未指定
96	必須情報要素が見つからない
97	メッセージタイプが存在しないか、または実装されていない
98	メッセージにコール状態との互換性がないか、またはメッセージタイプが存在しないか実装されていない
99	情報要素またはパラメータが存在しないか実装されていない
100	無効な情報要素コンテンツ
101	メッセージにコール状態との互換性がない
102	タイマーが切れてコールが終了した、エラーから回復するために回復ルーチンが実行された
103	パラメータが存在しないか実装されていない: 渡された (国際使用)
110	認識されないパラメータを持つメッセージが破棄された
111	プロトコルエラー、未指定
122	優先レベルの超過
123	デバイスのプリエンプション不可
125	帯域幅不足 (シスコ固有)
126	コール スプリット (シスコ固有)
127	インターワーキング、未指定
129	優先コールの帯域幅不足

コード	説明
130	自然分離コード
131	コール制御ディスカバリの PSTN フェールオーバー (シスコ固有)
132	IME QOS フォールバック (シスコ固有)
133	PSTN フォールバックがコールエラーを検索 (シスコ固有)
134	PSTN フォールバックが DTMF タイムアウトを待機 (シスコ固有)
135	IME の失敗：接続タイムアウト (シスコ固有)
136	IME の失敗：登録されていない (シスコ固有)
137	IME の失敗：ソケットエラー (シスコ固有)
138	IME の失敗：ドメインのブロック (Cisco 固有)
139	IME の失敗：プレフィックスのブロック (Cisco 固有)
140	IME の失敗：チケットの期限切れ (シスコ固有)
141	IME の失敗：リモートとルートの不一致 (シスコ固有)
142	IME の失敗：リモートが未登録 (シスコ固有)
143	IME の失敗：リモート IME が無効 (シスコ固有)
144	IME の失敗：リモートの無効な IME トランク URI (シスコ固有)
145	IME の失敗：リモート URI が E164 でない (シスコ固有)
146	IME の失敗：リモート着信側番号が利用できない (シスコ固有)
147	IME の失敗：無効なチケット (シスコ固有)
148	IME の失敗：不明 (シスコ固有)
155	DCC 許容パーセント超過

表 5: シスコ固有のコール終了原因コード

10 進数のコード値	16 進数のコード値	説明
262144	0x40000	会議がいっぱい (旧 124)

コール終了原因コード

10 進数のコード値	16 進数のコード値	説明
393216	0x60000	コールスプリット (旧 126) のコードは、コールが分割されて終了した (最終的に転送されたコールの一部ではなく) ために、転送操作中にコールが終了した場合に適用されます。これは、どのコールが機能操作の一部として終了したかに役立つ可能性があります。
458752	0x70000	会議からの任意の通話者のドロップ/会議からの最後の通話者のドロップ (旧 128)
16777257	0x1000029	CCM_SIP_400_BAD_REQUEST
33554453	0x2000015	CCM_SIP_401_UNAUTHORIZED
50331669	0x3000015	CCM_SIP_402_PAYMENT_REQUIRED
67108885	0x4000015	CCM_SIP_403_FORBIDDEN
83886081	0x5000001	CCM_SIP_404_NOT_FOUND
100663359	0x600003F	CCM_SIP_405_METHOD_NOT_ALLOWED
117440591	0x700004F	CCM_SIP_406_NOT_ACCEPTABLE
134217749	0x8000015	CCM_SIP_407_PROXY_AUTHENTICATION_REQUIRED
150995046	0x9000066	CCM_SIP_408_REQUEST_TIMEOUT
184549398	0xB000016	CCM_SIP_410_GONE
201326719	0xC00007F	CCM_SIP_411_LENGTH_REQUIRED
234881151	0xE00007F	CCM_SIP_413_REQUEST_ENTITY_TOO_LONG
251658367	0xF00007F	CCM_SIP_414_REQUEST_URI_TOO_LONG
268435535	0x1000004F	CCM_SIP_415_UNSUPPORTED_MEDIA_TYPE
285212799	0x1100007F	CCM_SIP_416_UNSUPPORTED_URI_SCHEME
83886207	0x1500007F	CCM_SIP_420_BAD_EXTENSION
369098879	0x1600007F	CCM_SIP_421_EXTENSION_REQUIRED
402653311	0x1800007F	CCM_SIP_423_INTERVAL_TOO_BRIEF
419430421	0x19000015	CCM_SIP_424_BAD_LOCATION_INFO
503316501	0x1E000015	CCM_SIP_429_PROVIDE_REFERER_IDENTITY
1073741842	0x40000012	CCM_SIP_480_TEMPORARILY_UNAVAILABLE
1090519081	0x41000029	CCM_SIP_481_CALL_LEG_DOES_NOT_EXIST

10 進数のコード値	16 進数のコード値	説明
1107296281	0x42000019	CCM_SIP_482_LOOP_DETECTED=0x42000000 + EXCHANGE_ROUTING_ERROR
1124073497	0x43000019	CCM_SIP_483_TOO_MANY_HOOPS
1140850716	0x4400001C	CCM_SIP_484_ADDRESS_INCOMPLETE
1157627905	0x45000001	CCM_SIP_485_AMBIGUOUS
1174405137	0x46000011	CCM_SIP_486_BUSY_HERE
1191182367	0x4700001F	CCM_SIP_487_REQUEST_TERMINATED
1207959583	0x4800001F	CCM_SIP_488_NOT_ACCEPTABLE_HERE
1258291217	0x4B000011	CCM_SIP_491_REQUEST_PENDING
1291845649	0x4D000011	CCM_SIP_493_UNDECIPHERABLE
1409286185	0x54000029	CCM_SIP_500_SERVER_INTERNAL_ERROR
1442840614	0x56000026	CCM_SIP_502_BAD_GATEWAY
1459617833	0x57000029	CCM_SIP_503_SERVICE_UNAVAILABLE
2801795135	0xA700003F	CCM_SIP_503_SERVICE_UNAVAILABLE_SER_OPTION_NOAV
1476395110	0x58000066	CCM_SIP_504_SERVER_TIME_OUT
1493172351	0x5900007F	CCM_SIP_505_SIP_VERSION_NOT_SUPPORTED
1509949567	0x5A00007F	CCM_SIP_513_MESSAGE_TOO_LARGE
2701131793	0xA1000011	CCM_SIP_600_BUSY_EVERYWHERE
2717909013	0xA2000015	CCM_SIP_603_DECLINE
2734686209	0xA3000001	CCM_SIP_604_DOES_NOT_EXIST_ANYWHERE
2751463455	0xA400001F	CCM_SIP_606_NOT_ACCEPTABLE
655360	0xA0000	CTI_REQUEST_INVALID_PRIMARY_CALL_STATE
851976	0xD0008	PREEMPTION_NON_IP
917512	0xE0008	PREEMPTION_NETWORK
301989951	0x1200003F	CCM_SIP_417_ERR_RESOURCE_PRIORITY_ROUTINE
570425365	0x22000015	CCM_SIP_433_ANONYMITY_DISALLOWED

リダイレクト理由コード

次の表に、レコードに表示される可能性があるリダイレクト理由コードを示します。

0.931 標準的なリダイレクト理由コード	
値	説明 (Description)
0	不明 (Unknown)
1	話中転送
2	無応答時転送
4	コール転送
5	コール ピックアップ
7	コール パーク
8	コール パーク ピックアップ
9	CPE の故障
10	コール転送
11	コール パーク 復帰
15	コール転送 (すべて)
標準的でないリダイレクト理由コード	
18	コール偏差
34	ブラインド転送
50	コール即時転送
66	コール転送代替パーティ
82	コール転送 (障害発生時)
98	会議
114	割込み
129	Aar
130	参照
146	置換
162	リダイレクション (3xx)

Q.931 標準的なリダイレクト理由コード	
値	説明 (Description)
177	SIP : 通話中グリーティングの転送
178	未登録時の不在転送
207	フォロー ミー (SIP : 全グリーティングの転送)
209	サービス停止 (SIP : 通話中グリーティングの転送)
239	時刻 (SIP : 全グリーティングの転送)
242	サイレント (SIP : 無応答グリーティングの転送)
257	利用不可 (SIP : 通話中グリーティングの転送)
274	退席中 (SIP : 無応答グリーティングの転送)
303	モビリティ ハンドイン
319	モビリティ ハンドアウト
335	モビリティ フォロー ミー
351	モビリティ リダイアル
354	録音 (Recording)
370	モニタリング (Monitoring)
399	モビリティ IVR
401	モビリティ DVOR
402	モビリティ EFA
403	モビリティ セッションハンドオフ
415	モビリティ 携帯電話ピックアップ
418	クリック ツー会議
434	未取得時の転送
450	未取得時の転送をパーカーに返送
464	コール制御ディスカバリ (コールが PSTN フェールオーバー番号にリダイレクトされることを示します)
480	Intercompany Media Engine (IME)

Q.931 標準的なリダイレクト理由コード	
値	説明 (Description)
496	IME 接続タイムアウト
512	登録されていない IME
528	IME ソケットエラー
544	ブラックリスト化された IME ドメイン
560	ブラックリスト化された IME プレフィックス
576	IME 期限切れチケット
592	IME リモート不一致ルート
608	IME リモートが未登録
624	IME リモート: IME 無効
640	IME リモート: 無効な IME トランク URI
656	IME リモート: URI 非 E164
672	使用できない IME リモート着信側番号
688	IME 無効チケット
704	IME 不明
720	IME PSTN フォールバック
738	プレゼンス対応ルーティング
752	エージェントのグリーティング
783	NuRD
786	ネイティブ コール キューイング (コールのエンキュー)
802	ネイティブ コール キューイング (コールのデキュー)
818	ネイティブ コール キューイング (エージェントがログインしていない場合に 2 番目の宛先にリダイレクト)
834	ネイティブ コール キューイング (キューがいっぱいの場合に 2 番目の宛先にリダイレクト)
850	ネイティブ コール キューイング (キューの最大待ち時間に達した場合に 2 番目の宛先にリダイレクト)

OnBehalfof コード

次の表に、CDR レコードに表示される可能性がある OnBehalfof コードを示します。

表 6: OnBehalfof コード

値	説明 (Description)
0	不明 (Unknown)
1	CctiLine
2	ユニキャスト共有リソース プロバイダ
3	コールパーク
4	会議
5	コール転送
6	ミーティング会議
7	ミーティング会議代行受信
8	メッセージ受信
9	マルチキャスト共有リソース プロバイダー
10	転送
11	SSAPI Manager
12	Device
13	コール制御
18	即時転送
15	割込み
16	ピック
17	参照
18	置換
19	リダイレクト
20	コールバック
21	パス交換
22	FacCmc Manager

値	説明 (Description)
23	迷惑コール
24	モビリティ
25	Aar
26	ダイレクト コール パーク
27	録音 (Recording)
36	モニタリング (Monitoring)
29	CCDRequestingService
30	Intercompany Media Engine
31	FallBack Manager
32	プレゼンス対応ルーティング
33	AgentGreeting
34	NativeCallQueuing
35	MobileCallType

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。